

データについて

集計条件

【共通】

- ・2025年6月1日～2026年5月31日までに退院された方
(集計対象外)
 - ・一般病棟に入院していない方
 - ・入院後24時間以内に死亡
 - ・生後1週間以内に死亡
 - ・臓器移植

DPC導入の影響評価に係る調査に提出しているデータを使用

○様式1(サマリーデータ)

入退院情報、病名情報等

○様式4

医療保険診療以外の診療の有無に係る情報
医科レセプトのみの患者

総括

①年齢階級別患者数

退院患者数は前年度(2024年度)と比べて約24%増加。
90歳以上の方の占める割合が、全体の約30%と最も高くなっている。

⑥診療科別主要手術別患者数等

手術件数は、前年度(2024年度)から約40%増加。
外科で約56%、整形外科で約45%増加。

①年齢階級別退院患者数

<定義>

- ・2025年6月～2026年5月に当院を退院された患者様の入院時の年齢を10歳刻みで集計。
- ・患者数が10未満の場合は、-（ハイフン）で表示しています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
患者数	-	-	-	19	25	87	177	188	218

当院は、65歳以上の人口が49.5%と大分県内でも高齢化率の高い地域にあります。
退院患者も70歳以上の方が約83%を占めており、高齢者の割合が高くなっています。
年齢の中央値は82歳となっています。

②診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPC対象病院ではないため、未作成。

③初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

<定義>

・2025年6月～2026年5月に当院を退院された患者数のうち

○5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)について、初発と再発に分けて患者数を集計しています。

・患者数は延べ患者数となっています。

・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸癌	-	-	-	11	-	17	1	8
乳癌	-	-	-	-	-	-	-	-
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肝癌	-	-	-	-	-	-	-	-

※UICC病期分類「1」、癌取扱い規約「2」

当院では入院にて化学療法を行っており、治療のために繰り返し入退院されるケースがあるため、集計上の患者数が多くなっています。

④成人市中肺炎の重症度別患者数等

<定義>

- ・2025年6月～2026年5月に当院を退院された患者様のうち、
 - 「入院の契機となった傷病名ICD」と「医療資源を最も投入した傷病名ICD」がどちらも「J13」～「J18\$」
 - 年齢が20歳以上
- ・上記に該当する患者数、平均在院日数、平均年齢を集計しています。
- ・入退院を繰り返している場合は入院回数分を集計。
- ・重症度分類は、A-DROPスコアを用い、軽症～超重症の4段階で表記。
- ・患者数が10未満の場合は、-（ハイフン）で表示しています。

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	23	29.83	86.70
重症	-	-	-
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

患者数は中等症が最も多く、約77%を占めています。

市中肺炎とは、通常の社会生活の中でかかる肺炎のことです。

誤嚥性肺炎は、集計対象外です。

⑤脳梗塞の患者数

<定義>

- ・2025年6月～2026年5月に当院を退院された患者様のうち、
○「医療資源を最も投入した傷病名ICD」が「I63\$」
上記に該当する患者数、平均在院日数、平均年齢、転院率を集計しています。
- ・患者数が10未満の場合は、-（ハイフン）で表示しています。

発症日から	患者数	平均 在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

発症日から「3日以内」「その他」を合計しても10件に満たないため、
全ての項目で表示対象外。

⑥診療科別主要手術別患者数等(診療科別症例数上位5位まで)

<定義>

- ・2025年6月～2026年5月に当院を退院された患者様の主たる手術(又は点数の高い手術)を集計。
ただし、軽微な手術(創傷処理、徒手整復術等)は除きます。
- ・診療科別の主要手術について、患者数、術前・術後の平均在院日数、転院率、平均年齢を集計しています。
- ・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

外科

Kコード	手術名	件数	平均 / 術 前日数	平均 / 術 後日数	転院率	平均 年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	77	0.08	1.08	0.00	70.60
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	24	0.96	4.83	0.08	88.71
K6335	ヘルニア手術(鼠径ヘルニア)	-	-	-	-	-
K7193	結腸切除術(全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術)	-	-	-	-	-
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術(虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	-	-	-	-	-

整形外科

Kコード	手術名	件数	平均 / 術 前日数	平均 / 術 後日数	転院率	平均 年齢
K0821	人工関節置換術(股)(膝)	22	2.36	35.09	0.05	78.95
K0461	骨折観血的手術(上腕)(大腿)	20	4.60	43.75	0.10	87.40
K0811	人工骨頭挿入術(股)	15	4.53	49.60	0.20	82.00
K0462	骨折観血的手術(前腕)(下腿)	14	4.64	34.43	0.14	66.00
K0463	骨折観血的手術(鎖骨)(膝蓋骨)(足)	-	-	-	-	-

総合診療科

全てが10件未満のため、表は不掲載

同一入院期間内に複数の手術を行っていても主たるものを集計するため、実際の手術件数とは異なります。
外科では内視鏡を使用した手術を多く実施しており、外科の手術数の約82%を占めています。
整形外科では下肢に対する手術を多く実施しており、整形外科の手術数の約80%を占めています。

⑦その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

<定義>

- ・2025年6月～2026年5月に当院を退院された患者様のうち、
「医療資源を最も投入した傷病名」が【播種性血管内凝固症候群】、【敗血症】、【その他の真菌感染症】、
【手術・処置等の合併症】の場合「入院の契機となった傷病名」と同一か異なるかを区別して症例を集計
しています。
- ・子様式がある場合は子様式を用いてカウントする。
- ・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)を記入しています。

傷病名	入院契機	症例数	発生率
播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
	異なる	-	-
敗血症	同一	-	-
	異なる	-	-
その他の真菌感染症	同一	-	-
	異なる	-	-
手術・処置等の合併症	同一	-	-
	異なる	-	-